

筆ヶ崎古墳群

—横穴式石室墳の調査—

第4次調査：現地説明会資料



【筆ヶ崎11号墳の横穴式石室】



【石室入口の閉塞と石室の内部】



【石室の前面には多数の土器片】

筆ヶ崎11号墳 横穴式石室

石室内を仕切るための石の列がみられます。床の一部が硬化しており、棺の痕跡がうかがえます。

石室入口の前には、大型の須恵器甕の破片を中心に土師器などが出土しました。墓前で祭祀の跡かもしれません。

- ◇ 筆ヶ崎古墳群の中で最も時期の新しい古墳。
- ◇ 無袖式石室
- ◇ 石室石材は川原石を使用
- ◇ 胴張りの玄室
- ◇ 棺台と棺の痕跡
- ◇ 墓前祭祀？

国道475号東海環状自動車道建設事業に伴う筆ヶ崎古墳群（第4次）調査では、横穴式石室をもつ2基の円墳が造られていることが分かりました。

筆ヶ崎古墳群のすべての石室は、石の抜き取りによって大規模に破壊されていますが、そのなかでも7号墳は、とりわけ被害の少ない古墳と分かりました。

石室からは完存する土器が出土し、貴重な発見が得られました。

今後、この地域の横穴式石室の造り方を探る手がかりとなるでしょう。

* 筆ヶ崎7号墳：6世紀末頃から7世紀前半頃
(石室の全長は約6m、幅は1.2~1.5m)

※現在は調査進行中のため、横穴式石室墳の速報をお届けします。
古墳の周辺には飛鳥時代から奈良時代の集落が広がっています。
新しい発見も期待できますので、今後どうぞ期待ください。

* 筆ヶ崎11号墳：7世紀前半頃から半ば頃

筆ヶ崎古墳群 第4次発掘調査 現地説明会資料（東海環状自動車道発掘調査だよりNo.7）

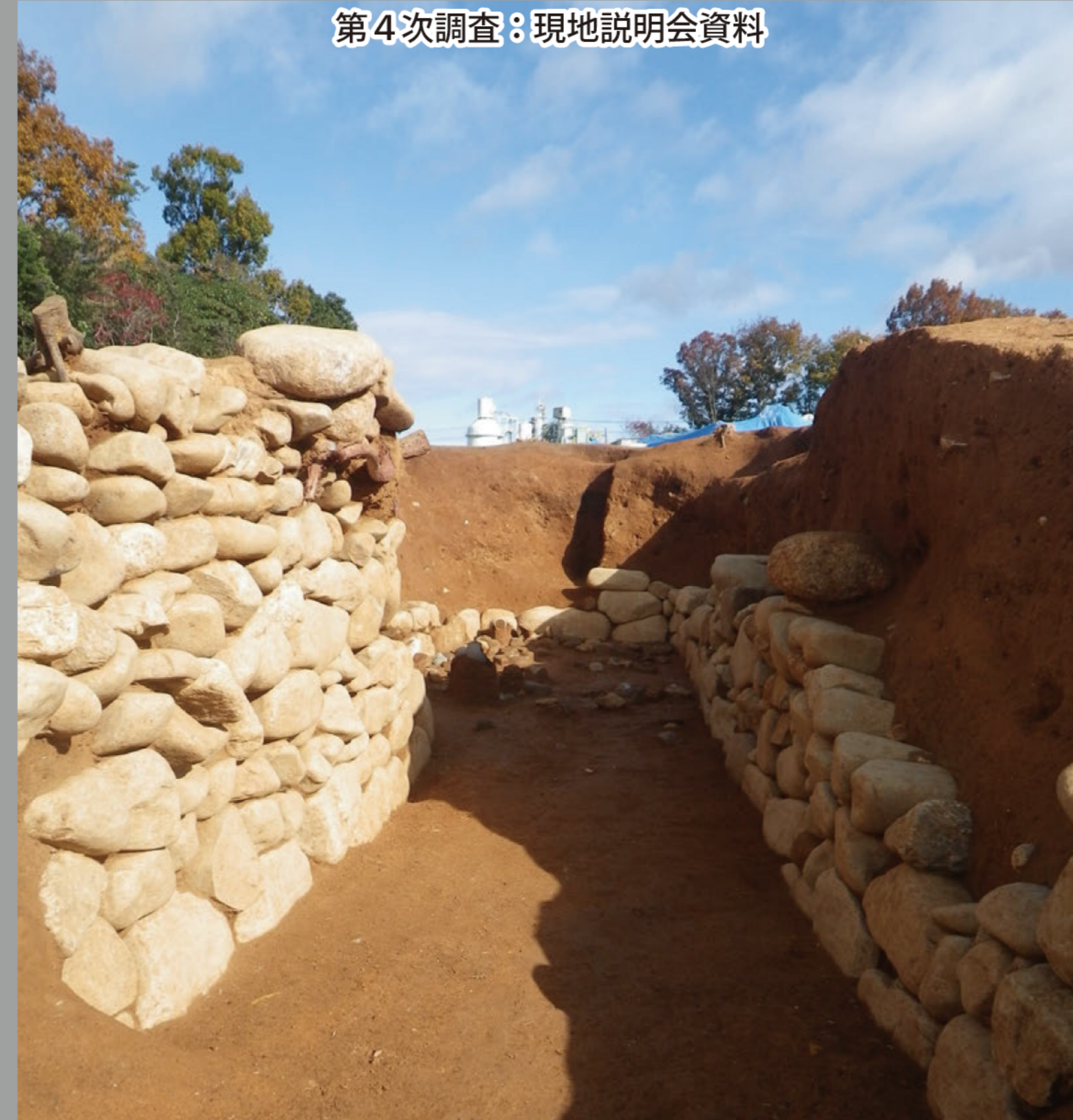
三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

TEL：0596-52-1732 / FAX：0596-52-7035 <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>

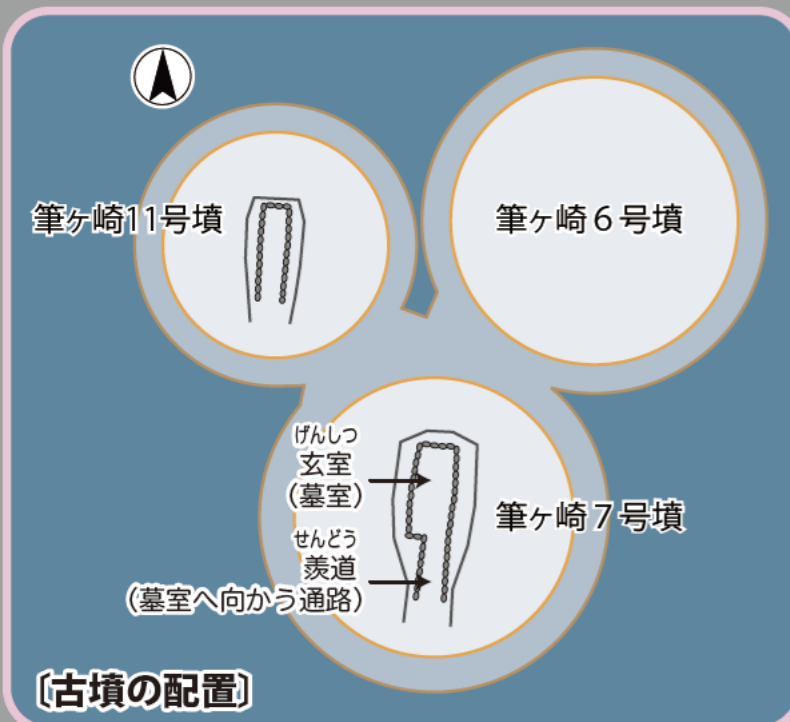
調査研究3課 四日市整理所 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

TEL/FAX：059-363-3196（東海環状担当）

2012（平成24）12月2日



三重県埋蔵文化財センター



筆ヶ崎7号墳 横穴式石室

- ◆ 筆ヶ崎古墳群の中で最も盗掘の被害が少ない。
- ◆ 片袖式石室
- ◆ 石室石材は川原石を使用
- ◆ 胴張りの玄室
- ◆ 八の字に広がる羨道
- ◆ 礎床



石室の入口は土と石によって嚴重に塞がれていたようです。

角の丸い川原石を上手に積み上げています。最下段の石はやや横長の大きな石が使われる特徴があるようです。



ていへい たかつき
提瓶・高杯・ハソウの3点が石室奥の隅に並べて置かれていました。

